

# いいね!中四国。



写真右上から時計回りに 道後温泉本館(松山市)、錦帯橋(山口県岩国市)、足立美術館の日本庭園(島根県安来市)、金刀比羅宮拝殿(香川県仲多度郡)、倉敷美観地区の川舟流し(岡山県倉敷市)、高知県の名物鯉のたたき、千光寺公園(広島県尾道市)からの風景、安芸の小京都・竹原(広島県竹原市)、写真中央 原爆ドームと平和記念公園(広島市)

中国・四国をはじめ地方はとも人口減、高齢化、雇用の場の減少など深刻な問題を抱えている。しかし、考えてみると大都市への一極集中は日本だけの問題だけではない。それを解決する知恵をどこまで出せるかが活性化の力基を握る。もちろんその動きは始まっている。官民が連携して地域活性化に取り組んだり、広域連携で観光を振興する動きも活発になっている。人口減少下でも豊かな地方を実現することは可能はずだ。中国・四国地域でもさまざまな取り組みが模索されており、活躍する企業も数多い。そんな姿の一部を紹介する。

各シンクタンクの予想も、来年にかけてこの傾向が続くと見ている。中国・四国エリアには輸送機や工作機械など輸出型の企業が多数立地しており、この間の円安によるメリットは確実に業績に反映されている。懸念材料はあるが、マインドが好転していることは間違いない。実際、4月から5月にかけて開催された「ひろしま菓子博2013」には予想を大きく上回る80万人が押しかけた。問題はこの流れをどう持続させるかだ。

日本経済はようやく回復局面に入った。2013年1-3月期の実質国内総生産(GDP)は前年同期比3・5%増とプラス成長になるなど好転は明らかになっている。超円高がやっとは正され、輸出産業が息を吹き返したほか個人消費も堅調で、こじは消費増税前の駆け込み需要も予想される。肝心の民間設備投資も、12年後半から増加傾向を強めており、13年はかなりの伸びが期待できる。

豊かな地方。  
実現できる

## 中国・四国地域特集



思いは、変わりません。

揺れる一点の炎を、一枚の青葉に。  
それは地球からのいのちの贈りもの。  
変わることで見えてくる、変わらない私たちの思い。  
新しい世代のこれからを見つめて。  
変わらず、この街と。

広島ガス株式会社

本社 広島市南区皆実町2丁目7-1 〒734 8555 TEL 082.251.2151(代表)  
www.hiroshima-gas.co.jp



いつもの場所を、価値ある空間に

四国化成



アルミシステム塀  
アートウォール

ブロックでもない。  
フェンスでもない。  
第3の塀。

POINT 1 安全性

コンクリートブロック塀の約1/20の軽量構造。

※数値は60mm厚仕様のパネルを使用した場合。

POINT 2 施工性

フェンスと同様の構造で短工期での施工が可能。

※高さ 2400mmまで施工可能で控え壁が不要です。

POINT 3 意匠性

各ユニットの組み合わせでオリジナリティの高い仕上がり。

※60mm厚と120mm厚のパネル仕様をご用意。

四国化成工業株式会社  
http://kenzai.shikoku.co.jp

札幌 TEL.022(374)4110  
北関東 TEL.0493(62)4127  
東京 TEL.03(3451)4111

神奈川 TEL.045(253)4111  
中部 TEL.052(705)0111  
近畿北陸 TEL.06(6339)4111

中国 TEL.086(245)3811  
四国 TEL.0877(58)5211  
九州 TEL.092(431)4111